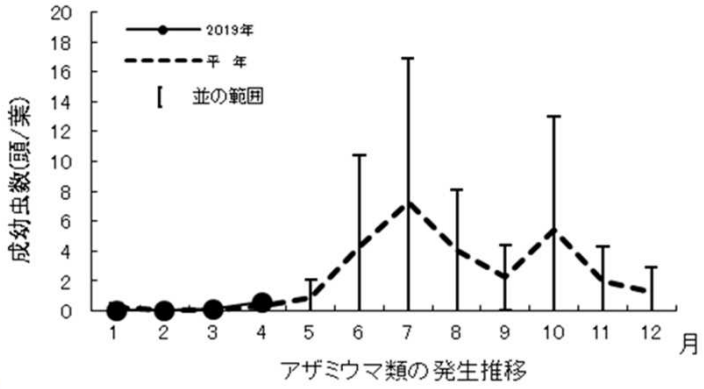
平成　31 年度　　5 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ			
予報	5 月の発生量（平年比）	並～やや多		
	4 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	4 月の発生量（平年比）	やや多		
	その他 （気象要因など）	トラップ誘殺虫数が平年並 平年の発生量の推移（↗）		

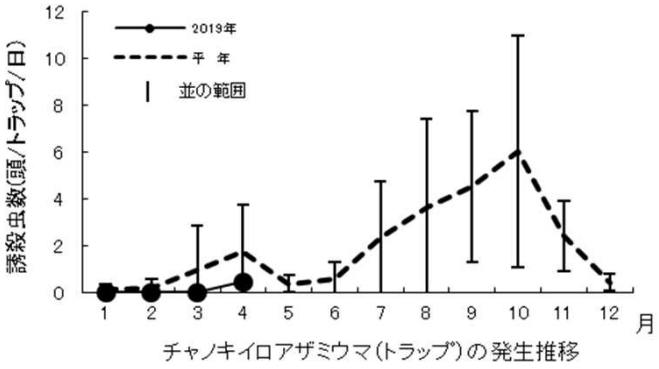
調査結果

（見取り調査）



アザミウマ類の発生推移

（トラップ調査）



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

・　病害虫防除員報告：中発生（本島南部）

防除のポイント

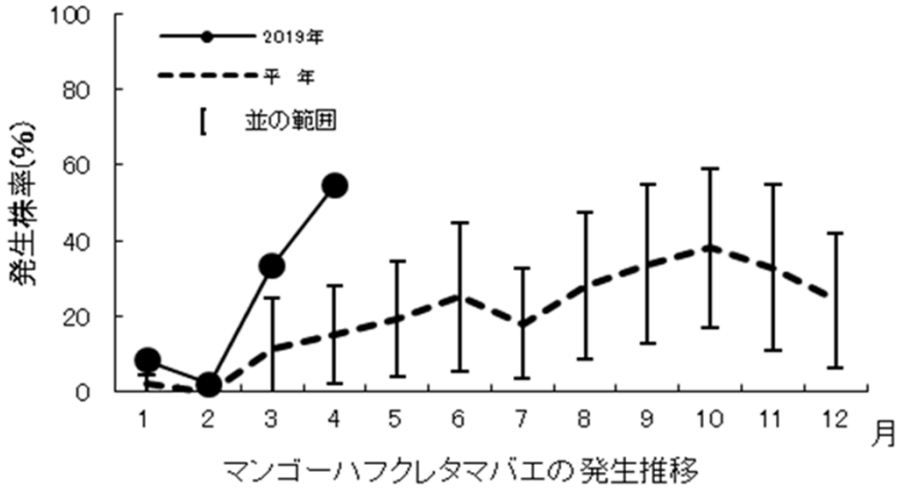
・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　5 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	5 月の発生量（平年比）	多		
	4 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	4 月の発生量（平年比）	多		
	その他 （気象要因など）	新梢の発生量が増加するため 平年の発生量の推移（↗）		

調査結果



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

- 被害新梢率：16.2%
- 発生施設率：100%

防除のポイント

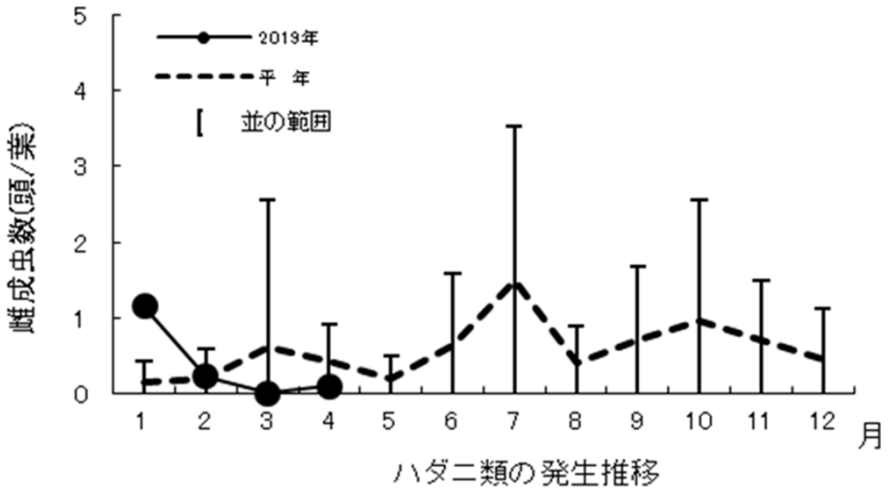
・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は、ほ場外に除去する。

平成　31 年度　　5 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類			
予報	5 月の発生量（平年比）	並		
	4 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	4 月の発生量（平年比）	並		
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（→）		

調査結果



ハダニ類の発生推移

- 発生種：シュレイツメハダニ
- 発生施設率：25%（平年38.3%）
- 新梢での寄生雌成虫数：0.1頭以下（シュレイツメハダニ）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症